

平成28年度 福島区運営方針自己評価

【目次】

- P2 運営方針とは
- P3 福島区運営方針の体系
- P4 平成28年度当初に設定した
経営課題の大きな方向
- P5～17 経営課題1～5
- P18 自己評価の総括

運営方針とは

運営方針とは

大阪市の24区役所や局・室等各所属における「施策の選択と集中」の全体像を示す方針として毎年度策定しているもので、目標像・使命、主な経営課題とともに課題解決のための事業戦略（施策レベル）・具体的取組（事務事業レベル）を示しています。

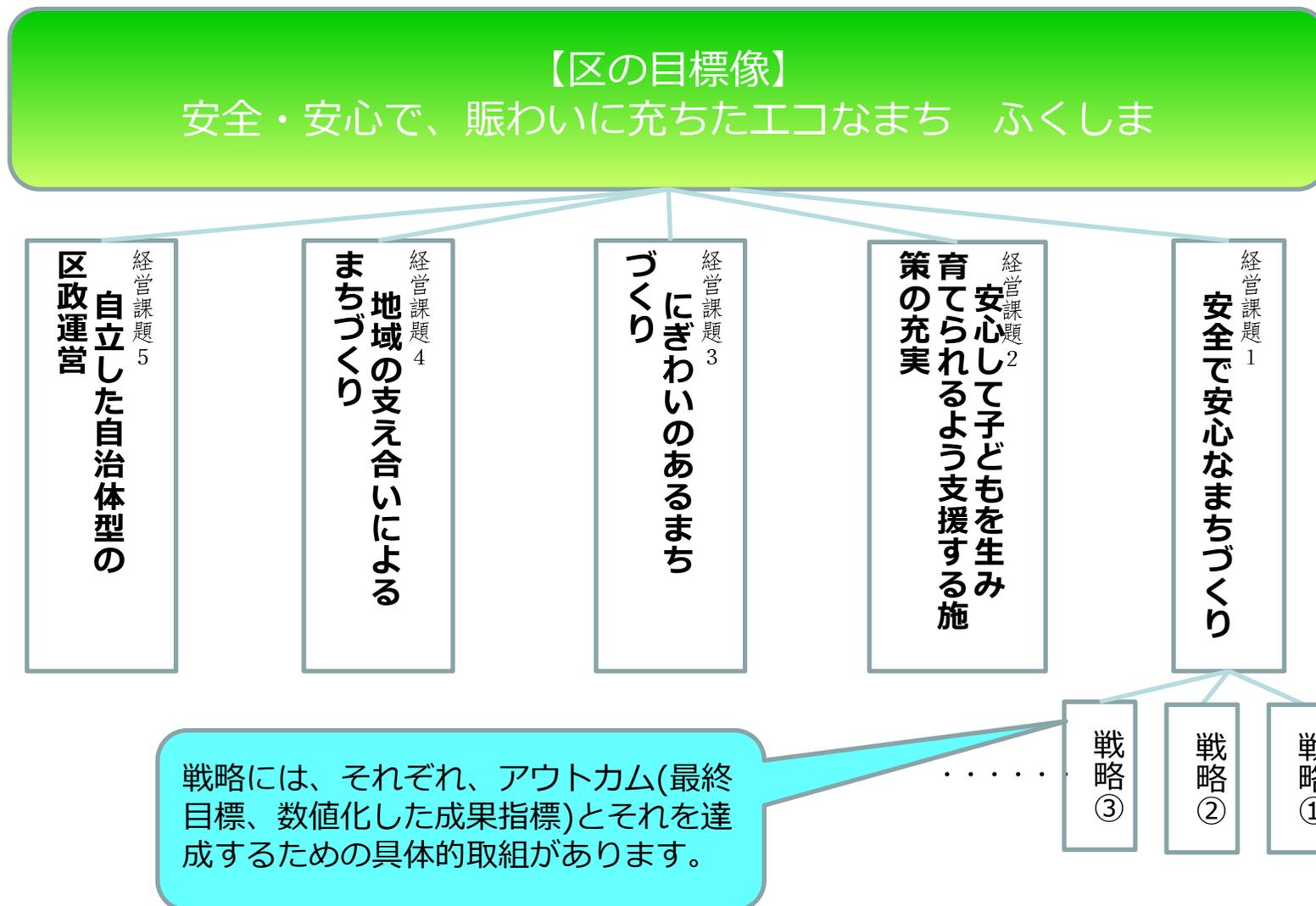
運営方針に係る評価

運営方針に掲載している戦略と具体的取組について、それぞれの目標の達成状況を点検するとともに、めざす成果に対する戦略の有効性を評価することを通じて、より実効性のあるPDCAサイクルを構築することをねらいとして実施しています。

【福島区の運営方針に係る評価(PDCAサイクル)】



平成28年度福島区運営方針の体系



平成28年度当初に設定した 経営課題の大きな方向

経営課題1 安全で安心なまちづくり

【防災】大規模災害に備えた新たな防災体制の確立をめざす。
【防犯】街頭犯罪件数が市内で最も少ない区をめざす。

経営課題2 安心して子どもを生き育てられるよう 支援する施策の充実

すべての子育て世代が不安を抱えることなく、安心して楽しく子育てができる区をめざす。

経営課題3 にぎわいのあるまちづくり

住民、企業等と連携協力し、活気とにぎわいがあふれるとともに、うるおいとみどりのある美しいまちを実現する。

経営課題4 地域の支え合いによるまちづくり

ニア・イズ・ベターの原則のもと、地域が「自助」「共助」の機能を発揮し、自主的に課題等の解決を行えるようになることをめざす。

経営課題5 自立した自治体型の区政運営

- ・地域の事業や特性に応じた施策や事業を展開するとともに、その成果を区民が評価し、施策や事業の改善を進める。
- ・すべての職員が市民目線に立った質の高い区民サービスを提供できる。



のだふじ巡りのようす

戦略1-1 地域力の強化による防災・減災対策の推進

【最終目標と28年度の結果】

目標	目標値※	H28結果
安全な場所に避難できると答える区民の割合	100% (H28年度までに)	92.5%
区役所が危機事象ごとの計画等を作成し訓練を実施していることを知っている区民の割合	80%以上 (H29年度までに)	55.4%

※区民モニターアンケートによる

【平成28年度の主な取組内容】

- 区内一斉津波避難訓練の実施(平成29年3月19日)
⇒参加者2,527人
- 地域、学校、行政が一体となった訓練の実施(区内の3中学校)
⇒参加者804名、訓練を受けて良かったと回答した割合85.3%
- 20~40歳の子育て世代をターゲットとした防災イベントの実施
⇒また開催してほしいと回答した割合50.9%



区内一斉津波避難訓練のようす

【今後の対応】

- 目標には達していないものの、各取り組みは順調に進んでいる。
区民モニターアンケートの結果からも若年層での認知度が低いことから、今後、子育て世代が集まる場所での防災啓発や防災イベントを、関係機関との共催により開催する。

経営課題1 安全で安心なまちづくり
戦略1-2 災害対策の環境整備

【最終目標と28年度の結果】

目標	目標値※	H28結果
安全な場所に避難できると答える区民の割合	100% (H28年度までに)	92.5%

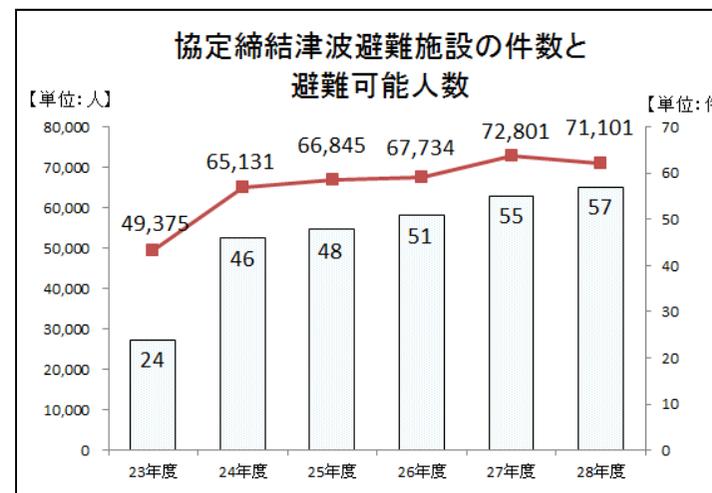
※区民モニターアンケートによる

【平成28年度の主な取組内容】

- 津波避難施設協定締結
 ⇒平成28年度新たに3件増(1件協定解除施設有り)
- フェーズドアレイ気象レーダーからの情報を活用し、ゲリラ豪雨情報システムのテスト運用を実施
 ⇒情報が役に立つと答えた割合 84%

【今後の対応】

- フェーズドアレイ気象レーダーからの情報提供について一定の成果はあったが、今後、目標達成に向けて幅広い視点からより効果的な手法について改めて検討を行う。



経営課題1 安全で安心なまちづくり

戦略1-3 密集住宅市街地整備の推進

【最終目標と28年度の結果】

目標	H28実績
平成32年度までに優先地区の地区内閉塞度レベル2の達成※	海老江八丁目1番街区周辺地区の権利者から同意書取得し、平成28年8月に事業実施。 別途2地区について、関係権利者と事業化に向けた協議ならびに現地測量を実施中。

※閉塞度レベル2：避難確率が97%以上であり閉塞危険性が低い

【平成28年度の主な取組内容】

- 海老江八丁目1番街区周辺地区について平成28年8月より密集市街地整備事業認可取得
- 別途2地区に対して、関係権利者と事業化に向けた協議及び測量を実施
- えびえにし防災広場（約300㎡）の整備



えびえにし防災広場
(防災トイレ設置訓練のようす)

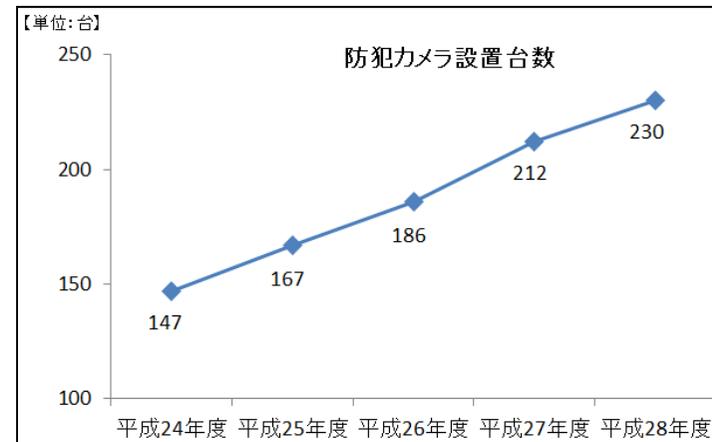
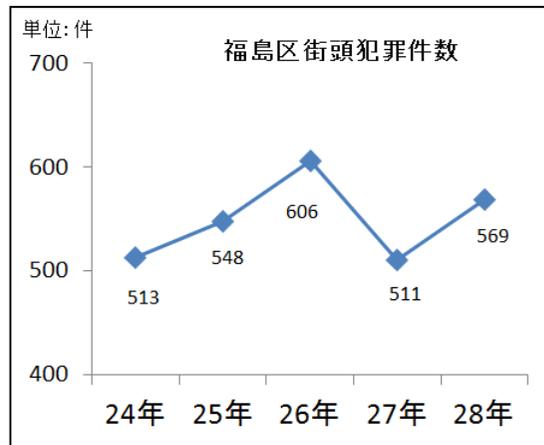
経営課題1 安全で安心なまちづくり
戦略1-4 街頭犯罪の撲滅

【最終目標と28年度の結果】

目標	目標値	H28結果
区内の街頭犯罪が減ったと感じている区民の割合	70% (H29年度までに)	街頭犯罪件数 ⇒569件

【平成28年度の主な取組内容】

- 防犯カメラの設置：18台
- 街路防犯灯の設置：12箇所



経営課題2 安心して子どもを生き育てられるよう支援する施策の充実
戦略2-1 妊娠期からの子育て支援

【最終目標と28年度の結果】

目標	目標値※	H28結果
区役所の取組みによって子育て不安や負担感が軽減されたと感じる親の割合	80%以上 (H30年度までに)	95%

※3歳児健診時アンケートによる

【平成28年度の主な取組内容】

- 妊婦同士、産後早期のママ同士の交流機会等を設定
⇒12回、参加者76名
- 母親の子育てに対する負担感・疲労感の軽減や健康づくりのスキルアップのためのセミナー
⇒4回、参加者152名
- 乳児(1歳未満)とその保護者の交流の場・相談の場「赤ちゃん広場」の実施
⇒12回、参加者延830組
- 概ね3歳までの子どもとその保護者の交流の場・相談の場「フッピーキッズルーム事業」
⇒開設日数141日、利用者延4,550組



フッピーキッズルームを利用する親子

経営課題2 安心して子どもを生き育てられるよう支援する施策の充実
戦略2-2 教育環境の充実

【最終目標と28年度の結果】

目標内容	目標値	H28結果
区役所等から効果的な支援を得ていると回答する小中学校の数	10校以上 (H30年度までに)	12校

【平成28年度の主な取組内容】

- スクールカウンセラーを小中学校に派遣
- 特別支援教育・発達障がいボランティアを小学校に派遣
ボランティア数:45人、ボランティアの活動日数:1605日
- 小中学校へのゲストティーチャー派遣事業
小学校3校、中学校3校に派遣
⇒「運動への興味・関心が高まった」と回答する割合：88.7%
- 放課後に小学校の運動場を開放するために見守り
ボランティアを派遣
ボランティア数:7人、活動日数：107日



小学生に指導する荒川大輔さんと
宮川洋也さん

経営課題3 にぎわいのあるまちづくり

戦略3-1 にぎわいと魅力あるまちづくり

【最終目標と28年度の結果】

目標	目標値	H28結果
ビジター数の増加	9万人以上 (H33年度までに)	主催事業の来場者数：51,084人 後援及び協力事業の来場者数：94,819人 合計145,903人

【平成28年度の主な取組内容】

- 平成29年3月26日「海の駅」オープン
 - 福島区のメインスポットにふさわしい藤棚の設計業務を実施
 - 野田阪神駅前野外ライブ(1,455人)
 - ざこばの朝市(19,090人)
 - のだふじ巡り(25,519人)
 - その他(5,020人)
- ※()内は来場者数

⇒「またイベントに来たい」と回答した割合
95%



ざこばの朝市のように

戦略3-2 花とみどりのまちづくり

【最終目標と28年度の結果】

目標内容	目標値※	H28結果
緑が増えたと感じる区民の割合	50%以上 (H30年度までに)	55%

※区民モニターアンケートによる

【平成28年度の主な取組内容】

- 緑化リーダーの方と協働による種花事業
 - ・ 植ええ 2回(春・秋) 11,480株出荷
 - ・ 区役所前花壇 植替え2回(春・秋)
 - ・ 区民への花苗プレゼント
- 区内9小学校プランター出荷(春・秋)
- 海老江1丁目4番街区に新設の駐輪場内に植樹帯を設置



種から花を育てる緑化リーダーの皆さん

戦略4-1 豊かなコミュニティの実現

【最終目標と28年度の結果】

目標	目標値※	H28結果
身近な地域の中で、「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」を実感している区民の割合	50%以上 (H29年度までに)	49.8% (市平均48.1%)

※区民モニターアンケートによる

【平成28年度の主な取組内容】

- 地域福祉活動の中心的役割を担う地域福祉コーディネーターを10地域に配置
- 高齢者・障がい者の日常生活の軽微なニーズにこたえるための有償ボランティアとのマッチング事業(ふくしま暮らし支えあいシステム)
 - ・マッチング件数：1,145件 活動登録数：74名
 - ・事業PRのためコンビニ等にポスターを掲示
- 地域住民が主体となって放置自転車の課題を解決するため地域と区役所が連携



ふくしま暮らし支えあいシステムを
コンビニで広報

【今後の対応】

- 担い手となるボランティアの拡大を引き続き長期的な視点で粘り強く取り組む。

戦略4-2 多様な主体の協働(マルチパートナーシップ)の実現

【最終目標と28年度の結果】

目標	目標値※	H28結果
地域が自律的に運営されていると感じる区民の割合	50%以上 (H29年度までに)	95.0% (市平均78.6%)
地域を越えたまちづくりに関する活動が、様々な活動主体の連携・協働により進められていると感じる区民の割合	50%以上 (H29年度までに)	26.2% (市平均20.8%)

※区民モニターアンケートによる

【平成28年度の主な取組内容】

- 地域活動協議会の予算・決算情報を区ホームページで公開
- 地域活動を紹介する小冊子を地域の企業等に配架
- 地域団体や企業などの活動主体が話しあえる交流の場となるコミュニティサロンを5回実施したほか、常設サロンも開設した。

【今後の対応】

- 地域活動が活発に自律的に運営され、地域課題の解決に向かえるよう、今後も各種事業を継続的に取り組む。



ふくしまサードプレイス
(常設サロン)のようす

戦略 5-1 多様な区民の意見やニーズの的確な把握と区政情報の発信

【最終目標と28年度の結果】

目標	目標値※	H28結果
区政運営に区民の意見や要望が反映されている区民の割合	60%以上 (H29年度までに)	41.1% (市平均32.4%)
区の様々な取組について企画・計画の段階において区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合	60%以上 (H29年度までに)	34.5% (市平均27.8%)

※区民アンケートによる

【平成28年度の主な取組内容】

- 区民モニターの実施 4回(格付け調査含む)
- 区長に届けみんなの声、そして小さな声
⇒188件
- 広報紙、ホームページ、ツイッター、フェイスブックでの情報発信
- 区政会議4回(部会含む)及び若い世代の方々と区民懇談会を実施

【今後の対応】

- SNSをはじめとする広報および区民モニターアンケートの充実を図ることで目標達成に努める。



若い世代の方々と
区民懇談会のようす

戦略 5-2 区民に身近な総合行政の拠点としての区役所づくり

【最終目標と28年度の結果】

目標	目標値※	H28結果
過去1年間に、区役所に日常生活に関する相談や要望を行った区民のうち、区役所が、区における市政の総合窓口として、適切に対応したと思う区民の割合	80%以上 (H29年度までに)	78%

※区役所来庁者アンケートによる

【平成28年度の主な取組内容】

- 担当業務内容を記載した電話番号表を全職員へ周知
- 主な手続き窓口のご案内を1階総合案内に設置

【今後の対応】

- 窓口案内の知識・経験が浅いスタッフでも、迅速にかつ適切に窓口対応ができるように、区民の方のご意見を反映したマニュアル等の作成を検討する。



1階総合案内に設置している
主な手続き窓口のご案内

戦略 5-3 区民が満足・納得できる区役所運営

【最終目標と28年度の結果】

目標	目標値	H28結果
区役所を過去1年間に訪れた区民のうち、来庁者への案内サービスや窓口での対応が良いと感じた区民の割合	80%以上 (H29年度までに)	85.6% (市平均79.2%)
効果的・効率的な業務運営に向け、区の実情や特性に応じて、区役所の取組が進められていることを知っている区民の割合	60%以上 (H29年度までに)	52.1%
区役所来庁者に対する窓口サービスに係る民間事業者の覆面調査員による調査(5点満点)での点数	3.5	3.4

【平成28年度の主な取組内容】

- 1階待合スペースにリユース図書館を設置
- 接遇研修を実施：1回（9/23、28）
- 来庁者アンケートを実施：1回(1/24、25)

【今後の対応】

- 一部の取り組みの見直しを検討するとともに、取り組み内容の周知についても検討する。



区役所1階リユース図書館

自己評価の総括

【1年間の取組成果と今後取り組みたいこと】

・平成28年度区役所業務格付けにおいて、来庁者サービスについて僅差で「☆☆(2つ星)」から「☆(1つ星)」※になったが、区政運営については今年も「A(4区だけが該当)」になり引き続き高い評価を得た。今後もさらなるサービスの向上に努める。

・にぎわいのあるまちづくりについては、都心ではじめての海の駅の開設や下福島公園をのだふじのメインスポットとするのだふじ再整備事業に取り組み、順調に進捗している。今後、これらの場所を拠点とし区内外から「福島区にきたい」と思われるような、にぎわいと魅力のあるまちづくりをめざす。

【解決すべき課題と今後の改善方向】

・「地域の支え合いによるまちづくり」については、若い世代やマンション住民など従来よりも幅広い層に呼びかけ、行政や地域活動への関心を持ってもらう必要がある。今後、多様な主体が地域活動に参加することを促し、人と人のつながりあい、支え合う豊かなコミュニティの実現に向けて、各種取り組みを進めていく。

※☆☆(2つ星)・・・民間の窓口サービスの平均的なレベルを上回るレベル
☆(1つ星)・・・民間の窓口サービスの平均的なレベル